

産地生産基盤パワーアップ事業
都道府県事業実施状況報告書兼評価報告書（収益性向上対策）

令和4年8月31日

都道府県名 鳥取県

I 産地パワーアップ計画（収益性向上タイプ）

1 成果目標

- (1) 生産コスト又は集出荷・加工コストの10%以上の削減
該当無し
- (2) 販売額又は所得額の10%以上の増加

| 地域協議会名 | 整理番号 | 地区名 | 対象作物 | 取組内容 | 成果目標 | 現状 | | | | | | | | | | | | | | | | 目標 | | | | | | | | | | | | | | | | 実績 | | | | | | | | | | | | | | | | スマート農業推進枠 導入・定着の取組の実施内容 | 地域(県又は国を含む)の価格(販売単価) | | 補正係数 | 価格補正後の実績 | 事後評価の検証方法 (※定量的な検証ができること。) | 達成率(%) | 地域協議会等の評価 | 都道府県の評価 | 備考 |
|-------------------------|------|----------------|------------|---|--------------|-----|--------------|----------|--------------|----------|----|----|--------------|----------|--------------|----------|----|----------|--------------|----------|--------------|----------|----------|----------|---------------|--------------|-------|-------------|----------|--|--|----|--|--|--|--|--|----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|----------------------------|----------------------|--|------|----------|-------------------------------|--------|-----------|---------|----|
| | | | | | | 現状 | | | | 目標 | | | | 実績 | | | | 現状 | | | | 目標 | | | | 実績 | | | | 前年度 | 目標年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 年度 | 面積 | 生産量又は出荷量 | 価格(販売単価) | 生産コスト | 年度 | 面積 | 生産量又は出荷量 | 価格(販売単価) | 生産コスト | 年度 | 面積 | 生産量又は出荷量 | 価格(販売単価) | 生産コスト | 年度 | 面積 | 生産量又は出荷量 | 価格(販売単価) | 生産コスト | 年度 | 面積 | 生産量又は出荷量 | 価格(販売単価) | 生産コスト | 単価 | 単価 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 若桜町農業再生協議会 | 1 | 若桜町 | 土地利用型作物(稲) | ①乾燥調製機能を集約することにより、担い手(組織)による直接販売量の増加 ②JA出荷金芽米仕向量、精米出荷比率を増やすことによる販売単価のアップ ③出荷品質の向上による高付加価値化 | 販売額の10%以上の増加 | H29 | 102,152円/10a | 66.0 ha | 298 t | 226 円/kg | - | R3 | 120,000円/10a | 84.0 ha | 403 t | 250 円/kg | - | R3 | 73,920円/10a | 39.9 ha | 179 t | 165 円/kg | - | - | 11,663 円/60kg | 9,542 円/60kg | 1.222 | 90,496円/10a | -65.3 | 当計画で位置付けていた「町内の主要経営体」2経営体のうち1経営体が経営判断により産地パワーアップ計画への参加が困難となり、当該経営体の経営状況(作付面積、生産量、販売額)の実績把握が不可能となった。 このため、令和2年度から水稲の農業経営を新たに開始した農業法人1経営体を「町内の主要経営体」に追加し、10a当たり販売額を算出することとなった。 成果目標「10a当たりの販売額」は、単価及び単収が下落したことにより、成果目標は未達成となった。 単収については、生産者の栽培技術が未熟であること等が原因となり、伸び悩んだ。 販売単価については、集荷量の確保ができず、有利販売ができなかったことなどが原因となり、販売対策が進まず、下落した。 このことから地域協議会として、「種の高い中山間地域の美味しい米」をPRして販売対策を進め、飲食店や消費者へ有利販売していく取組を進めていくよう取組主体を支援する。また、農業改良普及組織の支援を受けて栽培管理技術の向上を進める。 今後は、関係機関と連携して品質及び単収向上の栽培指導を行い、より多く有利販売につなげ、目標達成するように支援する。 | 主要経営体の1経営体の事業参加の困難な状況が続いており、目標が未達成となっている。 引き続き、目標達成に向けて、関係機関と連携して主要経営体へ収量・品質向上に向けた生産技術指導を行う。また、各経営体の生産規模拡大と生産効率向上に向けて関係機関と連携し指導・助言を行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 湯梨浜町農業再生協議会 | 2 | 湯梨浜町 | 果樹(梨) | 真郷梨のブランド力強化 ①製品管理システムの導入等による施設機能の向上及びコスト削減 ②JA、県普及所等による新品種の導入推進と高品質果実生産に向けた指導による単収向上 | 販売額の10%以上の増加 | H29 | 706,980円/10a | 159.1 ha | 2,733,440 kg | 411 円/kg | - | R3 | 785,621円/10a | 141.3 ha | 2,421,776 kg | 458 円/kg | - | R3 | 919,964円/10a | 111.8 ha | 1,868,590 kg | 550 円/kg | - | - | 289 円/kg | 422 円/kg | 0.685 | 630,175円/kg | -97.7% | 条件不利地での栽培面積を縮小し、条件の良い圃地でのみの栽培を行う農家が増加した事及び不慮の事故等で圃地不在となり栽培が継続できなくなった事等により、産地の栽培面積が減少した。 また、令和3年は交配直後(4月)の降雪、降雪強風により果実量の減少及び傷果が増加するとともに、夏季(7月)の豪雨や台風9号による落果等により、出荷量が減少し、成果目標を達成することができなかった。 今後は、JAや普及員等の関係機関と連携して優良圃地の継承を進め、栽培面積及び生産量の維持に努めるとともに、栽培技術指導によって生産量の増加を図る。また、自然災害に備え、JAの栽培指導会等での対策技術指導や、防災無線を活用した注意喚起等を継続して実施し、被害の低減を目指す。 | 条件不利地での栽培面積縮小や不慮の事故等で栽培継続が困難になる等の理由により、計画時の想定よりも大幅に栽培面積及び出荷量が減少したに加え、R3年は気象災害の多発による収量減も影響し、目標未達成となった。 事業の目的である「産地の発展」「ブランド強化」には、栽培面積維持と出荷量確保が不可欠であることから、優良圃地の継承や栽培技術指導による反収増加の取組の強化に向けて、関係機関と連携し、指導していく。 併せて、近年多発している気象災害に対する防災、減災の取組についても強化を促す。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 伯耆町地域農業再生協議会、南部町農業再生協議会 | 1 | 鳥取県西伯郡南部町及び伯耆町 | 露地野菜(白ねぎ) | 白ねぎ産地の形成の推進 ①選別・調製・出荷体制の整備を含む作業体系の見直しにより、規模拡大を図る ②地域に適した品種の導入 ③排水対策と灌水対策を確立することにより、適正管理による圃場での生産ロスを減少させる | 販売額の10%以上の増加 | H29 | 710千円/10a | 30.1 ha | 536.3 t | 399 円/kg | - | R3 | 781千円/10a | 30.5 ha | 597.8 t | 399 円/kg | - | R3 | 688千円/10a | 31.9 ha | 667.1 t | 329 円/kg | - | - | 399 円/kg | 329 円/kg | 1.212 | 833千円/10a | 173.2 | 品種切り替えによる単収向上の取組み、生産者の収益強化を目的にR3年から加工工程の新規格を設ける工夫などを行い、産地の発展に努めた。 その結果、面積、出荷量ともに目標を上回り、単収も目標1,959kg/10aに対し、実績は2,092kg/10aとなった。販売単価は新型コロナウイルス感染拡大等の影響もあり目標に届かなかったが、当該地域の販売額で比較し、価格補正後の結果、成果目標としていた10%あたり販売額の実績は目標達成となった。 今後は、新たに取組みを始めた者や単収が低い者、売価率が低かった者に対して、関係機関と協力して適期管理の指導、大雨時の防除対策の指導強化、顧客明許の加工推進等の排水対策を徹底することによって改善を図り、引き続き産地全体の品質・単収向上に取り組んでいく。 | 出荷調整を行う機械の導入により栽培環境の改善を図り販売額10%以上の増加(取り組み、栽培面積及び出荷量は目標以上に増加し、単収も当初計画を上回る実績となった。 新型コロナウイルスの影響もあり単価は振るわなかったものの、価格補正後の実績は目標達成となった。 県内の他地域でも課題となっている排水対策や気象災害後の速やかな防除実施等の指導を、地域協議会とともに継続し、引き続き産地全体の収益性向上を目指していきたい。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |